



会長 小野寺 伸 浩
幹事 及 川 昭 宏
会報 猪 股 育 夫
 例会場 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327
 例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 事務所 ホテルサンシャイン佐沼 ☎22-8180 FAX22-0327

第2777回例会(Web例会) 2021.5.13 No.34

本日の出席率

・本日の出席率 100%

会長要件

小野寺伸浩会長

登米市内の田植えも順調に進んでいるようです。皆様いかがお過ごしでしょうか？ 娘の送り迎えで新田駅に行くことが多いのですが、メインストリートを飛び交う燕については目を見張るものがあります。低空飛行から急上昇、方向転換等見ていて飽きません。糞の被害も相当ですが、それについては期間的なものもあり、地域の住民の方々にはしばしの我慢をお願いしたいです。また、新田駅も立て替えとなるようです。県内最古の駅舎だったようです。解体される前に一度見に行かれることをお勧めいたします。

本日は米山記念奨学生の印海浜さんが例会に参加されています。印海浜さんについては、今学年度当クラブが世話クラブとして1年間お世話することになっています。1990年生まれの30歳、中国江蘇州出身で現在東北福祉大学の3学年に在籍されています。これから毎月の例会に参加されます。会員の皆さんよろしくお願ひします。

5月は、青少年奉仕月間です。今年度は野球大会のみ実施できました。今年度実施できた数少ない事業の一つです。本日は青少年奉仕委員会のフォーラムを大畑好司委員長に実施していただきます。大畑委員長には野球大会の実施にあたり数年間青少年奉仕委員会に携わっていただきました。今後の展望を含めてお話いただけるとありがたいです。

例会の開催方法については、状況を判断しつつ最適な方法で実施いたします。幹事からの案内をご確認ください。安全安心な例会づくりを心掛けていく所存ですので、引き続きご協力宜しくお願ひ致します。

幹事報告

及川昭宏幹事

・ガバナーエレクト事務所より
「地区研修会・協議会」用の冊子が届く

フォーラム

・青少年奉仕委員会（大畑好司委員長）

少年少女野球大会・剣道大会について会員の皆様からご意見をいただきながら、今後の青少年奉仕委員会の大会等についていろいろと考えていきたいと思っています。

剣道大会についてですが、本年度はコロナ禍の中ということで、本来9月14日に開催を予定しておりましたが中止ということになりました。本年度開催していれば第38回目ということで、長く継続されている大会であります。今年度開催できていればですが、剣道人口が登米市内でも大分減ってきており、団体戦の大会が開けるかどうかということで議題に上ってまいりました。その中で剣道連盟の方々と協議をしている中で、人数が減っても是非5人制の団体戦でなくて3人制の団体戦を開催する。また個人戦も行うという話をしてまいりました。しかし、先日今の剣道をする小学生を確認したところ、今年もどんどん減少しており活動を中止しているチームもあると聞きました。この近くでは北方の剣道チームが人数が少なくして今は活動を中止で、今後も多分剣道の人口は減ってくると思っています。こういった状況の中で今後剣道を継続して行っていくのか、それとも違う大会だったり事業に変えていくのか、そういったところのご意見を皆様からいただきたいと思っています。

他のクラブでは、こういった小学生のスポーツ大会は、バレーボール、サッカー、野球、剣道といった種目で開催しております。また、こういったスポーツの大会ではなく、小学生を対象にした防災、救命等の講習会で青少年の支援をしているクラブもありました。

第38回ということで長くやってきた剣道大会である

ので、継続するのが一番良いのかなと私も思っておりますが、皆さんは今後どの様にしたらよいかご意見があればいただきたいと思ひます。

・佐々木源悦会員

剣道に限らず活動の継続は大変なことで、剣道大会についても関係者と相談してやればやると、ただし難しい場合には別の方法も考えても良いのではないかと思います。なかなか展望が見渡せない中、クラブとして青少年を支援できることを模索していけばと思ひます。

・及川長五郎会員

やはり基本的には、どういう形でやるのかということであって、子供の減少の中で、会員の皆様もいろんな思いがあつて大変でしょうが、皆が皆、納得し全員全員の力で活動を推進していくことが大事だと思います。委員長さんを中心に頑張っていきましょう。

今、お二方からご意見をいただきましたが、やはり38回と言うことで今後歴史ある大会を出来る限り継続していくように、剣道連盟としっかり協議した上で、開催を続けていかれればと考えております。

続いて野球大会についてです。野球大会は今年度第44回を開催いたしました。昨年度からチーム数を登米市内の全域のチームに参加していただいて、そして市外からも4チーム参加していただいて、今年度は18チームで大会を開催いたしました。その3年前の大会は8チームで1日で全てを終わらせていたのですが、2年前から18チームで2日間に渡って大会を開催しております。2年間このような形でやってきましたが、2日間の開催ということで会員皆様の負担も大きくなってまいりますが、やはり市内の全チームを招待するという大会については、私も是非この規模を縮小するものではなくて続けていくことが出来れば、子供たちも1年に1回のこのロータリー大会をほんとうに楽しみにしてくれるのではないかと考えております。

全チームを招待するためには2日間の開催でないとならないと言うことで良いのか、それとも全チーム呼んだ中で1日で大会を終えるには、どの様なやり方でやっていったらよいか、また、問題点としてやはりクラブの会員だけでは運営は厳しいというより出来ないということがあります。本年度は中学校の硬式野球チーム（登米シニア）との協賛といいますか一緒にやっております。今後もこの形でやるのであれば、少年野球チームであったり、どこかのチームに運営・企画等をお願いしなければやっていけないのかなと考えております。登米シニアも今人数がだんだん減少しているということもあります。

第45回の大会は同じ様に企画しようと考えております。協賛してくれるチームの人数が減ってくれば、そちらの方の協力も難しくなってくるというリスクもあります。ただ、その際は何を一番考えるかといったところで、やはり子供たちがその大会を通して色々なことを学んでいただくためには、運営をもし現在お願いしている登米シニアがだめであれば、違うチームをお願いする等その時その時の状況に応じて協力してくれるチームが変わってくるかも知れませんが、その様にしてやっていくのが一番良いのではないかと考えております。45回目の大会は節目の大会でありますので44回大会よりもっと素晴らしい野球大会が開催され

ばと思っております。

現状の運営と問題点についてお話させていただきました。大会に参加された中で、開催・運営等についてご意見があればお聞かせいただければと思っております。その後、皆様のご意見を含めて45回の大会をより素晴らしいもの出来ればと考えております。

・及川長五郎会員

大畑委員長さんがお話になった通り、歴史のある大会ですから運営が一番大変なところだと思います。現実的に外部団体をお願いして可能であれば年度年度で開催し、協力団体が変わるのは仕方のないことだと思います。そういった形で継続することが出来れば青少年の健全育成にも役立ちよろしいのではないかと思います。市内の全チームが平等に参加できるのは良いことですが、状況によって縮小せざるを得ないと思ひますが、皆んなで検討して現状に合った形での開催を願っております。

・菅原慶一会員

協働した登米シニアの方からは、一緒にしたことについての意見や感想はありませんでしたか。

お二方からのご意見ありがとうございました。

毎年度協働チームが変わってくるというところで、もしその様な形になった際には、当クラブの青少年奉仕委員長になった方が継続しての担当でないので企画するのが難しい面があります。その中で、協働チームが全てをやっていたければ大会の継続は同じようにできるのではと考えております。協働するチームが変わった場合に、そのチームが企画しやすい状況を作っておくことが大切です。誰が委員長になっても今後できるようにすることが課題だと思っております。協働チームとの話し合いで最善の手法でやっていくことができればと考えております。

最初の方は、登米シニアと佐沼クラブとは別々に大会を開催しておりました。登米シニアが予算的に厳しい状態で運営している中で、佐沼RCと一緒にすることによって経費が縮小した面もあり、今後もこの様な形で共催させていただければありがたいという言葉をお願いしております。当クラブと登米シニアと一緒にやることで、お互いの出来ない部分をカバーできるのでこの方法は良いのかなと思っております。

環境の変化がある中で子供たちを一番に考えた大会に作り上げていくという思いを次の委員長さんにも伝えて、子供たちが楽しく、成長できる大会となるようにしていければ、ロータリーの青少年奉仕委員会の目標である「健全な育成」につなげていくことが出来ると考えております。

◎米山奨学生のバッチを授与



印海浜米山奨学生へ